



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

発行責任者 宮島喜文

編集責任者 深澤憲治

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号

TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722

ホームページ <https://www.jamt.or.jp>

P1~P5 全国「検査と健康展」2023 各地からの報告 最終回
P5 大規模災害時の支援人材育成講習会（その1）を4月から開催

全国「検査と健康展」2023 各地からの報告 最終回

岡山県

岡山県臨床検査技師会では、令和5年11月11日（土）岡山コンベンションセンターレセプションホールにて名称を「健康と臨床検査展」として開催しました。県内のコロナ感染状況は落ち着いてきたものの、例年より少なめの108名の参加となりました。高齢の方々や子どもから大人まで、家族での参加もあり、血管年齢、骨密度、体脂肪率、頸動脈超音波、血圧測定、認知症などの無料検査や検査結果説明を実施し、医師を含めた49名のスタッフの丁寧な対応に大変喜んでいただけました。また、模擬用のフルーツゼリーを用いたエコー体験、顕微鏡を使ってがん細胞や血液細胞を実際に覗いてもらうことにより、臨床検査を身近に感じていただけたと思います。

広報面では、中高生をターゲットとした学習塾へのチラシ配付や今年度初の試みである岡臨技Instagramを開設しイベント案内したことにより、実際の来場者数以上に臨床検査技師への啓蒙活動が実施でき、各世代別では高校生の参加割合が多く、臨床検査体験、大学説明コーナーも盛況で、次世代に繋がるものと思われれます。

（岡山県臨床検査技師会 中川 尚久）



パートや停留所が隣接する地下街のオープンスペースを会場としたためか、通りがかりに参加された方が多く300名弱の参加があり検査待ちの列ができるほどで、延べ検査件数（健康相談を含む）は813件でした。普段なかなか機会のない検査を体験でき、また、医師による健康相談では「直接医師に相談でき良かった」と来場者にはおおむね好評でした。

ボランティアスタッフも日常の業務と変わらず、丁寧な対応で来場者の案内、検査の実施、検査についての説明を行い、来場者からも「スタッフの方が優しく良かった」、「臨床検査技師の仕事を知る機会になった」などの声が寄せられました。全国「検査と健康展」での活動をおし臨床検査技師の認知度の向上につなげることができました。

（広島県臨床検査技師会 小川 和子）

山口県

令和5年度全国「検査と健康展」を11月26日（日）にシーモール下関にて開催し、約170名の来場者がありました。

今年は山口県臨床検査技師会として、どのようにして臨床検査を行なっているのかに重点を置き、市民の方に臨床検査を体験していただく形で企画しました。展示内容は4つのブースに分け、顕微鏡体験・超音波検査体験・検体採取体験・大学紹介です。

当技師会一丸となって企画しましたが、「何か不備やトラブルがあったらどうしよう」と思いながら開催当日を迎えました。実際始まってみると家族連れからご高齢の方まで幅広い市民の方に臨床検査業務を体験していただきました。各ブースでは興味深そうに観察したり、話を聞いたりする姿が見られ、「もう一度したい!」と言ってくれる子どもたちもいました。

今後もこのような企画を通して臨床検査や臨床検査技師に興味をもってもらうと共に、我々の認知度を上



広島県

11月11日（土）広島市中区紙屋町シャレオ中央広場にて全国「検査と健康展」を開催しました。ボランティアを募り、実行委員と合わせ38名の会員の参加となりました。実施検査項目は骨密度検査、簡易血糖検査、簡易貧血検査、認知症スクリーニング検査を実施。また、医師にご協力いただき健康相談を行いました。

コロナ禍明けの3年ぶりの開催となった今回はデ



げて医療における役割を知っていただければと思います。

また、企画に賛同し協力していただいた、企業の皆さまに心より感謝を申し上げます。

(山口県臨床検査技師会 濱邊 ともみ)

徳島県

2023年10月22日(日) 徳島大学蔵本キャンパス 医歯薬学共創プラザにおいて、「検査と健康展」を開催しました。コロナ流行後の久々の開催となり不安もありましたが、トラブルもなく、多数の方々にご来場いただきました。2階エレベーター前に受付を構え、来場者の皆様に対して臨床検査に関するリーフレットの配布と検査体験コーナーへの案内を行いました。スタッフとして徳島県立中央病院、徳島市民病院、きたじま田岡病院、吉野川医療センター、阿南医療センター、徳島県赤十字血液センター、徳島大学病院より、計14名の徳島県臨床検査技師会員の皆様にご協力いただきました。ありがとうございました。

顕微鏡検査体験では、血液細胞の正常像と白血病などの異常像の観察や、心筋・肝臓・脾臓・腎臓など組織の観察を体験してもらい、血液型検査体験では、試験管法によるオモテ検査を体験してもらいました。尿検査体験では、6種類の異なる色調の尿それぞれに疑われる疾患を考えてもらいました。超音波検査体験では、人体模型を用いて腹部超音波検査を体験してもらいました。いずれのブースも盛況で、臨床検査技師の業務や検査の重要性について広く啓発することができました。楽しみながら体験していただくことができ、来場者の皆様にもスタッフにとっても大変有意義な時間となりました。

「検査と健康展」は臨床検査についての正しい知識の普及・啓発を目的としています。会員の皆様には引き続きご協力賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

(徳島県臨床検査技師会 湯浅 麻美)

香川県

令和5年9月24日(日曜日)10時より、フジグラン丸亀にて、健康フェスタ in フジ

グラン丸亀(「検査と健康展」)を開催しました。フジグラン丸亀の開催は2回目となり私たち臨床検査技師会からは両上腕血圧測定、酸素飽和度測定、骨密度測定、超音波体験、資料配布などを行いました。

前回の経験もありスムーズな進行はできましたが、相変わらずスタッフ集めに関しては、人が集まらず苦労しました。理事の皆様にも無理を言って23名の会員の方々を確保でき何とか開催することができました。初



めて参加された方も多く、交流を持てたことは嬉しい限りです。

朝は来場者が少なく心配はしましたが、昼過ぎになると急に多く来られたような気がします。おかげさまで120名の来場者があり安堵いたしました。臨床検査技師の認知度を少しでも上げるためにも、このような地道な活動を我々臨床検査技師は、続けていく必要があります。また、「検査と健康展」は自分一人では到底企画・開催することはできません。さらには、同じ人ばかりが参加していると香臨技活動としては一体感を生みれないと思います。私は、こういうイベント活動を通して、人脈を広げていき、若手育成、教育に繋がると考えます。

(香川県臨床検査技師会 藤村 一成)

愛媛県

愛媛県臨床検査技師会では、令和6年1月13日(土)と14日(日)の2日間、株式会社フジ・リテ



イリング様のご協力により、エミフルMASAKI 1階グリーンコート、フローラルコートをお借りして「検査と健康展」in エミフルMASAKIを開催いたしました。

一般市民を対象に健康増進と生活習慣病予防に関する啓発、そして臨床検査技師のことをより知っていただくことを目的に、エミフルを歩きかう人たちに声をかけながら健康チェックを勧めました。

健康チェックでは検査機器5台(骨密度、認知機能、簡易ヘモグロビン、体組成計、肌年齢)による測定を実施し、糖尿病療養指導士による糖尿病相談や、「糖尿病療養指導士に学ぶ検査の話」として、トークイベントを実施いたしました。今回、初出展である健康食品管理士ブースも設置し、健康食品や特保製品についてなどの説明や相談を行いました。

参加者数は、13日(土)に975名、14日(日)に852名、2日間合計で延べ1,827名の参加がありました。

昨年に引き続きウイルス感染症が心配されるの中での開催ということで、来場者はどれくらい来てくださるのだろうかという不安もありましたが、始まってみるとそんな心配は杞憂に終わり、市民の皆さまの健康に対する関心の高さを改めて実感することができました。毎年来られている常連さんもありましたし、「したかったけん家族みんな連れて来たよ」「毎年これ楽しみにして来よるけんね」等、市民の皆さんとのふれあいも楽しみの一つとなりました。

また、来場された皆様には日本臨床検査技師会誌「ピペット」やクリアファイル、ボールペン、糖尿病啓発冊子等の配布を行い、臨床検査技師の知名度UPを図り、こうしたイベントを通じて広く知っていただくよい機会となりました。

2024年度は、さらに楽しい企画を用意して、皆様に参加しやすいイベントを作っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

(愛媛県臨床検査技師会 川上 智也)

高知県

令和5年11月19日(日)、高知県立ふくし交流プラザで「検査と健康展」高知会場を開催しました。新聞折込チラシやポスターを見た方など84名の方にご来場いただき、臨床検査体験や健康チェックなどを体験していただきました。技師25名、医師1名、学生1名がスタッフとして参加し、大きなトラブルなく無事イベントを終えることができました。

今年は初めて臨床検査技師養成校コーナーと超音波検査体験コーナーを設置しました。養成校コーナーでは、10代の学生さんとその親御さんが訪れることもあり、臨床検査技師の職業アピールに繋がったと思います。超音波検査体験コーナーでは腹部、心臓用に装置を用意し、来場者に超音波検査の説明と検査の体験をしていただきました。体験した方の年代は10歳未満～70代と幅広く、臨床検査に触れる貴重な機会となったと考えます。その他健康チェックのコーナーは骨密度、もの忘れ度チェック、簡易ヘモグロビン測定、医師の健康相談コーナーを設置しました。どのコーナーも無料で気軽に検査や相談をすることができるため、自分自身の健康に目を向ける良い機会を提供できたと考えます。

例年より来場者が少なかったため、広告の打ち方を再検討することなどが課題として残りました。臨床検査技師の職業アピール、検査の大切さの啓発ができるイベントであり、今年度の反省を活かし次年度以降も運営していきたいです。

(高知県臨床検査技師会 吉永 由菜)



今回の全国「検査と健康展」を通して、検査のことやご自身の健康について興味をもってもらうことで市民の健康意識の向上と私たち臨床検査技師の認知度向上に繋がったと感じています。ご参加いただいた方々や実務にご協力いただいた方々へ心より感謝申し上げます。

(福岡県臨床衛生検査技師会 栗山 正嗣)

佐賀県

令和5年12月10日(日)に令和5年度「検査と健康展」in佐賀を、

昨年引き続き佐賀市の大型商業施設(ゆめタウン佐賀)において開催いたしました。多くの買い物客で賑わうなか、臨床検査技師のお仕事体験では「顕微鏡で観察」に198名、「エコーでの観察」はフルーツゼリーの中身当てに70名、胎児用ファントムの観察に63名、健康チェックでは「体組成測定・握力測定」に133名、物忘れ検査に106名、乳がん触診モデルを使った乳がんセルフチェック体験に82名体験いただきました。各コーナーは、ご家族連れから高齢者の方まで大変好評でした。その中で、アンケートに協力いただいた212名の方の約68%が臨床検査技師を知っていると回答をいただきました。臨床検査に関する知識の普及や啓発、臨床検査技師を知っていただく良い機会となりました。最後に、参加していただいたスタッフや関係者の皆様に感謝申し上げます。

(佐賀県臨床検査技師会 渡辺 竜美)



長崎県

令和5年11月26日長崎県大村市のシーハットおおむら(サブアリーナ)にて全国

「検査と健康展」を開催いたしました。企画として、各検査部門のポスター展示・説明、体験コーナーでは、顕微鏡鏡検(血液像・尿沈渣)また一般検査では、模擬尿を用いて試験紙の色調変化の体験等を行いました。

顕微鏡鏡検ではモニターに映し出された画像について「血液初めて見ました、血液やおしっこにも色んなものが出るんですね～」という感想をいただきました。輸血検査に関しても、「血液型は、代表的な4つ(A・B・O・AB)だけでなく、200を超える抗原があるのは、驚いた。初めて知った」「献血された血液は、色々検査が実施されていると知って安心した」等の感想をいただきました。

また、頸動脈エコー検査では整理券を配布し、骨密度・物忘れ検査とともに来場者の方々には盛況の企画となりました。ちびっこ白衣体験では、子ども用白衣を着て、顕微鏡を覗く姿をお父さんに写真を撮ってもらい、ポーズを決めている格好が印象的でした。

福岡県

令和5年度の日本臨床衛生検査技師会および福岡県臨床衛生検査技師会主催の全国「検査と健康展」を令和5年11月11日(土)に、福岡県飯塚市のゆめタウン飯塚2Fミライ広場にて開催しました。ゆめタウン飯塚は、7月末にオープンしたばかりで大勢の人で賑わっていました。実施内容としては、実際の検査(物忘れプログラム・血糖測定・ヘモグロビン測定・ABI)や検査説明(SAS・血液型検査)、体験(顕微鏡や手洗いチェック、白衣で写真撮影など)、また医師・保健師・看護師による健康・医療相談を実施しました。10時から16時まで開催し、来場者数251名と、子どもからご高齢の方まで幅広い年齢層の方々にご参加いただき、大盛況のうちに終えることができました。

実際に検査値をみて安心する方や顕微鏡に興味をもった子どもたちなど参加者の方々からは、喜びや驚きの声、また検査についての質問も多数ありました。



受付では日臨技からのリーフレット等を配布、スタンプラリーも企画いたしました。この健康展を通して、臨床検査技師の職名や業務の内容をより多くの方々に知っていただき、ご自分の健康に関し再認識していただいたことと思います。

最後に私達も、コロナ禍で直接お会いすることができなかった技師の仲間に、この「検査と健康展」を通して初めて顔を合わせ、つながりを作ることができたことも大きい収穫だったと思います。

(長崎県臨床検査技師会 中村 孝男)

熊本県

令和5年度全国「検査と健康展」を11月11日(土)イオンモール熊本で行いました。



日臨技からの検査に関するリーフレットを入れた資料200部の配布、肝疾患コーディネーターによる肝炎健診啓発、乳がんモデル触診体験、ヘモグロビン測定、血管年齢測定を行っています。

乳がんモデル触診体験やパネルを用いた乳がん検診啓発活動では、小学生の娘さんやお父さんも一緒に体験していただくなど幅広い年齢の方に体験いただきました。また、肝炎コーディネーター有資格検査技師による肝炎検診啓発コーナーでは、検査キットを用いた検査も行いました。

前年度好評だった、採血することなく末梢血管内のヘモグロビン推定値測定ができる機器をメーカーより借用し、今年度も実施しました。女性や高齢者に多い貧血を手軽な検査で身近に感じていただくことができました。

これらの検査を臨床検査技師が専門知識を活用して精度良く迅速に検査していることをアピールすることができた1日となりました。

(熊本県臨床検査技師会 野中 喜久)

大分県

大分県臨床検査技師会では令和5年11月23日にあけのアカロス大ホールをお借りして「検査と健康展」を開催しました。今回のイベントを通して、一般市民の健康増進と年1回の健康診断受診の啓蒙を目的としました。



今回は昨年と同じあけのアカロスホールでしたが、今年は小ホールではなく大ホールをお借りして、健診項目を中心に昨年以上の検査機器を準備して健康チェックを行いました。またすべての検査で技師による結果説明を行い、一般市民の方々に”検査に興味を!!健康に興味を!!”を目標に丁寧!!にまた熱く!!説明を行いました。

今回は血管年齢測定と簡易心電図と同時にHRVを用

いたストレスチェックを行いました。ストレス社会の現代に最も有用な検査と考え初挑戦しました。受診者の中にはストレスチェックの結果を見て納得される方も多く、目に見えない体の悲鳴を可視化できる検査も大事であることを今回つくづく感じました。

検査技師、医療業界の目線と一般市民の方の目線、常識は違うため、医療従事者である限りどんな時でも目線、常識は一般市民の方と同じに一般市民、受診者の気持ちになってイベントを開催することが本当に大事だと再度確認できました。

多くの来場者から感謝の言葉や「1年運動して来年また来ます!!」との声も聞かれました。開催の意義を心から感じました。来年は今年以上の一般市民目線の検査を!!また講演会なども含めた開催も企画して行きたいと思います。

(大分県臨床検査技師会 渡部 亨)

宮崎県

令和5年12月2日(土)イオンモール宮崎において、全国「検査と健康展」(宮崎)を開催いたしました。昨年度は令和5年1月に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により急遽開催を断念しましたので、今回は無事に開催できてホッとしています。



当日は屋外で別のイベントが開催されており、会場へ足を運んでいただける方が少ない状況でしたが、臨床検査技師のお仕事体験には保護者と一緒に来場された中学生以下の子どもさんから薬学部などの大学生まで参加していただき、尿検査(疑似尿)、シミュレーターを使用した採血、超音波検査、心電図検査などを体験していただきました。保護者の方と参加された子どもさんは定期的に採血されているとのことで、採血する側の体験を熱心に行っていたのが印象に残りました。

健康チェックでは、骨密度、血管年齢、ベジチェックを実施し、「健康な食生活を心掛けたい」、「生活習慣病の予防にも努めたい」などの感想をいただきました。

各コーナーでお待たせする時間があつたので、次回はいま少しスムーズな開催ができるようにしたいと思います。参加していただいた皆様、ありがとうございました。

(宮崎県臨床検査技師会 坂下 香代子)

鹿児島県

2023年11月12日(日)に全国「検査と健康展」in 鹿児島をセンテラス天文館6Fホールで開催いたしました。以前から頸動脈超音波検査は人気が高いため、利用者が多いことを予測し、機器を1台多く



設置して対応いたしました。また、成人の肝炎増加を背景に肝臓の超音波検査コーナーを用意し、肝脂肪の割合を数値化することで肝炎チェックを行いました。簡易的な検査ではありますが、多くの利用者からお礼の言葉をいただきました。医師の健康相談や検査説明でも内容・結果について一人一人しっかり説明をすることができ、利用者からも「じっくりお話しできてうれしい」などのお言葉をいただきました。アンケートにおきましても臨床検査技師の認知度は92%と高くなっており、技師の活動効果も上がっていることを実感することができました。

今年は各種イベントも多数開催されており、利用者の参加数が減ってしまいましたが、「検査と健康展」の魅力と重要性を伝え、より多くの方に足を運んでいただきたいと思います。

(鹿児島県臨床検査技師会 入木 猛利)

沖縄県

令和5年12月3日(日)に、イオン南風原ショッピングセンターにて「検査と健康展」を昨年に続き開催することができました。今回もイオン南風原さまからメインの会場を提供していただき、当会は実務委員47名の人員で挑みました。

今回も広報にかなり力を入れ、従来の新聞広告(沖縄タイムス、琉球新報)に加えて、手登根会長をはじめ理事数名にてラジオ等にも出演し、前日譚のPRを



しっかり行いました。

前年度に続き「“臨床検査”って面白い!検査とカラダの不思議を体験しよう!」のテーマで、顕微鏡や医療機器を使用して、血液の中、がん細胞、細菌、エコーなどの検査を実施。それに加えて骨密度測定や手洗いチェッカー、新型コロナウイルス感染症関連展示の新設ブースも設けました。今回の目玉は、一般検査分野の寄生虫の標本や動画・写真を用いた解説、輸血検査分野の血液型検査における反応等についてで、お子さん達の関心を大きく揺さぶっていました。また、病理・細胞分野は、『はたらく細胞』の動画を流して、一工夫加えた解説を行っており、来場者にはかなり高評価でした。

開催日は、沖縄県民の大きな行事にあたる“NAHAマラソン”とかぶっていましたが、昨年同様に約500名の来場者がありました。これは前述した広報に力を入れた効果が反映しており、学生さんから「臨床検査技師や細胞検査士になりたい」、「臨床検査技師になるにはどのような学校へ行けばいいのか」などの進路に関する質問が多くみられ、来場者の質的な面が大きく変わった印象を受けました。沖縄県臨床検査技師会は、今後もこのような企画を介して、臨床検査技師の認知度向上及び人材発掘に寄与していきたいです。

(沖縄県臨床検査技師会 山城 篤)

令和5年度 全国「検査と健康展」の報告は今回が最終回です。
全国会場でご協力いただいた会員の皆様、ありがとうございました。



大規模災害時の支援人材育成講習会(その1)を4月から開催

大規模災害時には会員施設における臨床検査機能を維持することの他、被災地の求めに合わせてJ-MAT(日本医師会)や日本赤十字等と共同し、活動できる臨床検査技師が必要となります。本講習会は、いどこで起こるかわからない災害に備え、全国的な支援人材の育成を目的としています。臨床検査技師として災害対策本部で支援活動ができる知識の習得を目標とし、大規模な災害発生時における対応の原則・概念、情報管理や資源管理に関する知識を学んでいただきます。

会 期 : 令和6年4月1日(月)~10月31日(木)
会 場 : Web開催(日臨技Web研修会システム)
受 講 資 格 : 日臨技会員
受 講 料 : 無料
点 数 付 与 : 生涯教育研修制度 基礎教科 20 点
申込・受講方法 : 会員専用ページより①事前参加申込み
→ ②事前参加申込済一覧から受講

参加申請
Application for Participation

① 事前参加申込み

② 事前参加申込済一覧

学会セミナー申込み

請求書/領収書

自己申告による参加登録

(編集後記) 能登半島地震は天災の怖さを改めて呼び覚ました地震でしたが、未曾有の被害をだした東日本大震災から13年が経過しました。月日の経つのは早いものです。そんな中、春が近づき草木がいよいよ生い茂る時期となりました。年度替わりで何かと慌ただしい時期ではありますが、少し立ち止まって、自然の生命力に触れてみてはいかがでしょうか。健康を気遣いながら、また新たな一年を過ごしていきたいものです。

(日高)